

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



市民税額(総額、個人平均額)の公表を

一般質問で、表題2 年齢別の個人市民税額や納税義務者1人あたりの個人市民税額が公表されない理由を尋ねました。◎八王子市はそれを公表している、◎公表して、数値を数表表示や、表計算ソフト等で活用できると考えるがどうか。

答弁では、八王子市を除く多摩地域の他市は公表していない。また、町田市が公表していない理由は、「それを作成していないから」というものでした。いわゆる紋切り型の回答でした。

八王子市が発表する資料(平成30年)によれば、人口で最も多いのは、44-47歳(マックス45歳9360人)、次いで68-70歳(マックス68歳9282人)、次いで20歳-22歳(マックス21歳8051人)となっています。個人の納税市民税の納税額では、納税者44-46歳(マックス44歳6813人-単価174798円)、57-59歳(マックス57歳4283人-単価58歳206895円)、もう一つの山が68-70歳(マックス68歳4373人-単価104983円)となっています。個人市民税の総額では、1位:46歳1,149,123千円、次いで2位:52歳1,103,375千円、代表的な世代で30歳総額391,415千円単価96,574円、70歳総額447,437千円単価102,318円となっており、納税者では70歳が30歳より、総額も個人でも多くの額を納めています。まずは、納税者では70歳が30歳より、総額も個人でも多くの額を納めていること、少なくとも、高齢者を若い人が支えているとは言えないという点を明らかにしました。



学校統合は問題多し: 請願審査

文教社会常任委員会が開かれ、その中で、私が紹介議員の署名をしていた、南成瀬小の学校統合の延期を求めた請願が初めて審査され、採決が行われた結果、可否同数となり、佐々木委員長の裁決で採択すべきと決まりました。(2024年6月18日)

この南成瀬小の統合でも南第二小はエリアの東寄りの比較的に低地にあり、南成瀬小はその西寄り、台地状の地形にあるものです。地元の区画整理で住宅や成瀬駅ができ、大勢の人が居住してきた土地になります。駅近で戸建て住宅が多い地区が形成されています。その分、住宅地区画が擁壁で囲まれたエリアも多く、学校統合で現在の南第二小に統合されると、高い台地上の「南成瀬」部分から、恩田川を渡って、「成瀬」部分に往復する必要があります。地形的にも山坂、擁壁の間を通る必要が出たりするものです。また、路線バスを使うとなると、朝は本数が時間3本あっても交通渋滞が生じやすく、夕方は時間1本という間隔でしか運航していないことが問題に取り上げられました。

そもそも、この学校統合の審議会で論議されるにあたり、石坂市長があいさつの中で通学不便地帯にはスクールバスを通す話をしており、また、教育長はそのスクールバスの色(黄色)まで言及していたことが請願者の説明と、議員の請願者への質疑で明らかになりました。また、そのことが「町田市立学校適正規模・適正配置等審議会」の議事録に載り、ネットにも出ていることが、行政側への質疑で明らかにされました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季休暇期間中の募集開始

インターン体験記：酒井 優子⑤

町田市議会定例会の傍聴をしてきました。定例会の傍聴は初めてだったのですが、支庁舎全体で、多くの人に傍聴してもらおうという心意気を感じられました。まず市役所一階エスカレーター前に、定例会の資料が配布されると共に、定例会の生中継映像が流れていました。これは、定例会の存在を知らない、いつやっているのかわからないという人に、定例会を傍聴できる日なのだと思わせることができる工夫だと思いました。また、傍聴席に、議会席に配布されている資料が置かれていました。国会などの傍聴席では、資料が配布されないこともざらにあるといいます。しかし、町田市では資料の配布がきちんと傍聴者にもされているため、傍聴がしやすい環境だと感じました。

しかし、すべてが良いというわけではなく、改善点も見られました。それは、字幕です。傍聴席には字幕表示画面があるのですが、その字幕の誤字が多いと感じました。一般の人にとっては聞き馴染みのない言葉が多い中、字幕も間違っているの、会議を理解できない人も多いのではないかと感じました。今回定例会の傍聴をし、町田市は傍聴者に対してさまざまな配慮をしていると感じました。今後は字幕等の技術を向上させることで、より傍聴者が増えるのではないかと思います。

議会中継システムを操作体験



東京都立大学2年生 酒井優子(第53期生)

インターン体験記：酒井 優子⑥

吉田議員の元インターン生である、下津陽菜乃さんにお話を伺いました。彼女は現在、大手物流系の倉庫管理会社で仕事をされています。倉庫管理では通常、WMSという管理システムを使用するそうです。しかし、下津さんの会社では、企業独自で開発された管理システムを使う場合や、ユーザーのシステムやエクセルを使うことなどもあり、顧客のオーダーに対応する態勢を取っており、会社によってカラーが出るそうです。



東京都立大学2年生 酒井優子(第53期生)

下津さんの学生時代のお話の中で、私が印象に残ったのは「サーバントリーダーシップ」という単語です。この単語は、“リーダーシップにはさまざまな種類がある”という話の中で話題に挙がりました。下津さんは学生時代、リーダーとなった経験があるそうなのですが、支配型のリーダーではなく、皆からの意見を取り入れるような形のリーダーを目指したそうです。そのリーダーの形こそが、「サーバントリーダーシップ」でした。こういった形のリーダーは、他者からの意見をもらいながら、一緒に行動することを目指します。そうすることで、リーダーだけでなく、全員が自主的に行動することができるようになるそうです。私は今まで、自身にはリーダーの適正はないと考えていましたが、リーダーにはさまざまな形があるという話を聞き、考えを改める良い機会になりました。今回話題に挙がった“サーバントリーダーシップ”以外にも、さまざまな形のリーダーはあるのだと思います。すると、大半の人は何かしらの形のリーダーの適正を持っているのではないかと思います。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年5月末までに107名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。